

大を見ることゝなつた。
8、第四回對策委員會

一月二十七日夜社大黨八幡支部に於て開催、陳情書の署名調印を終りたると工場内に反對氣運の醸成したるとに依り今後の運動方針に付協議の結果左の通決定。

イ、委員會代表として伊藤卯四郎外四名を選定二十九日夜八幡發上京中央に運動すること

ロ、調印運動は二萬余名の署名を得たので上京委員携行すること

ハ、委員會代表と共に従業員代表約二十名上京の筈に付之が統制の爲、委員長に伊藤卯四郎氏副委員長に谷口友太郎氏を選任せり

9、同志會緊急役員會
一月二十七日夜開催し役員總會の名を以て左の決議をなし

二十九日出發の上京委員に携行せしめ藏相、陸海兩相並に中井長官宛手交することを申合せたのである。

○決議

官業製鐵所の民間合同は營利資本家を救済するのみにして國家經濟は之に依り根本より破壊せられ全従業員の生活は極度に窮乏するに依り吾等は全力を擧げて絶対に反對するものなり。

10、陳情委員の出發

一月二十九日午後六時二十二分八幡驛發列車にて伊藤卯四郎氏外二十四名は約千五百名の見送人に送られ出發東上した。